

農業・農村における女性の活躍について

令和3年11月

全国水土里ネット会長会議顧問

参議院議員

しんどう かねひこ
進 藤 金日子

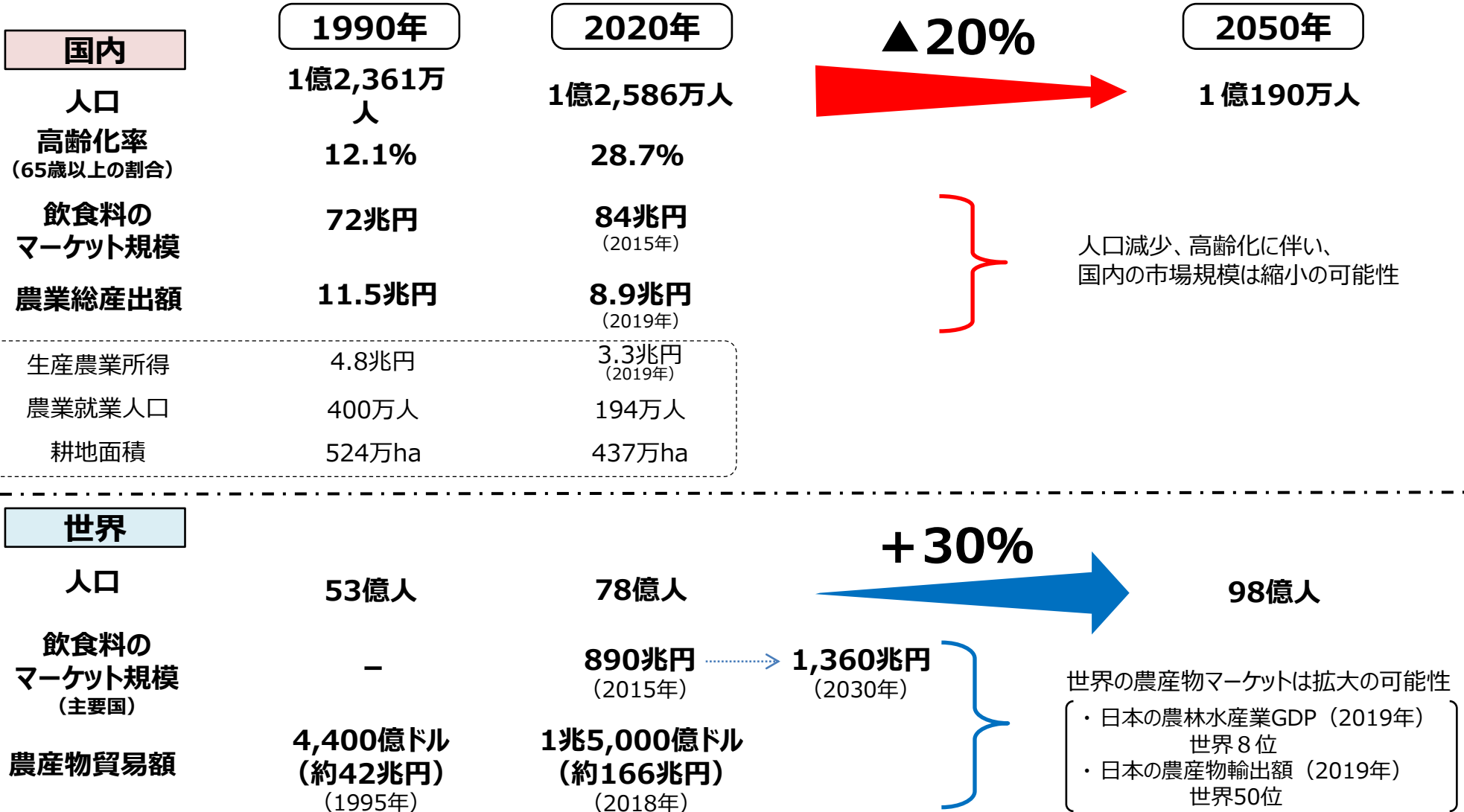
～講演のながれ～

1. 農政を取り巻く状況の変化
2. 食生活の変化と長期的な食料自給率の低下
3. 食料安全保障政策の推進
4. 我が国の農業従事者の年齢構成
5. 農業就業人口に占める女性の割合
6. 女性と農業経営
7. 女性の経営方針決定への関わり
8. 農村女性の起業動向
9. 女性の認定農業者及び認定新規就農者
10. 地域の農業政策・方針決定過程への女性の参画
11. 家族経営協定の推進
12. 女性活躍と経営発展のためのポータルサイト(STEP WAP)
13. 「農業女子プロジェクト」について
14. 女性農業者が輝く農業創造のための提言の概要(2020年12月公表)
15. 女性の力が農業・農村を元気にする
16. 都道府県水土里ネット女性の会の設立状況

(参 考) 第5次男女共同参画基本計画(2020.12 閣議決定) 抜粋

1. 農政を取り巻く状況の変化

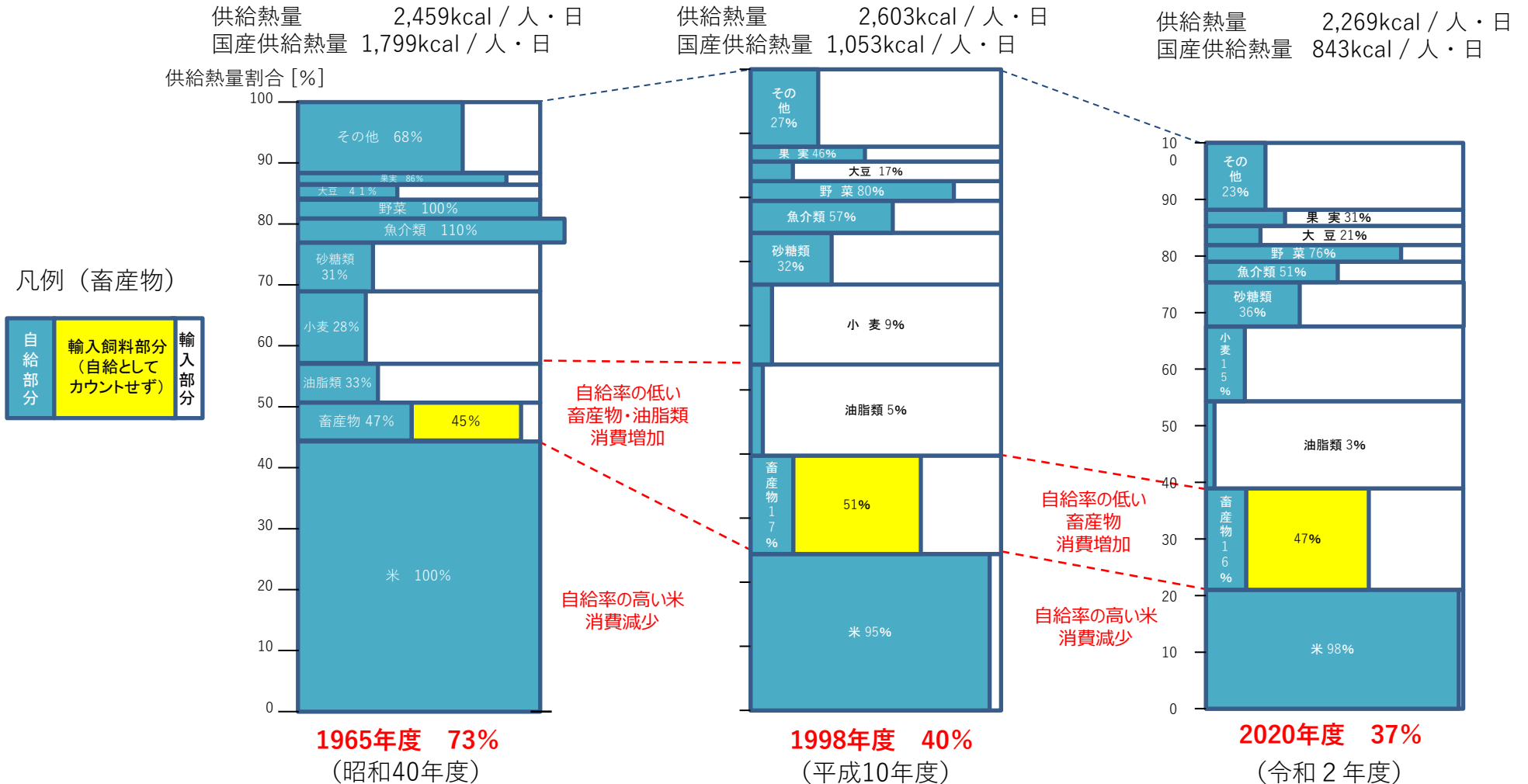
- 人口減少や高齢化に伴い、国内の市場規模は減少の可能性。一方、世界の農産物マーケットは拡大する可能性。
- 国内外のマーケットの変化にかんがみれば、農林水産業の国際競争力を強化し、輸出産業への成長を目指した強い農林水産業の構築が急務。



2. 食生活の変化と長期的な食料自給率の低下

- 長期的には、食生活の大きな変化により**米の消費の減少**、**畜産物等の消費の増加**など、品目ごとの消費動向は変化。
- こうした消費の変化に対し、国内生産で対応が困難なものが増えたことが食料自給率低下の大きな要因。

食料消費構造の変化とカロリーベース食料自給率の変化 (品目別供給熱量自給率 [%])

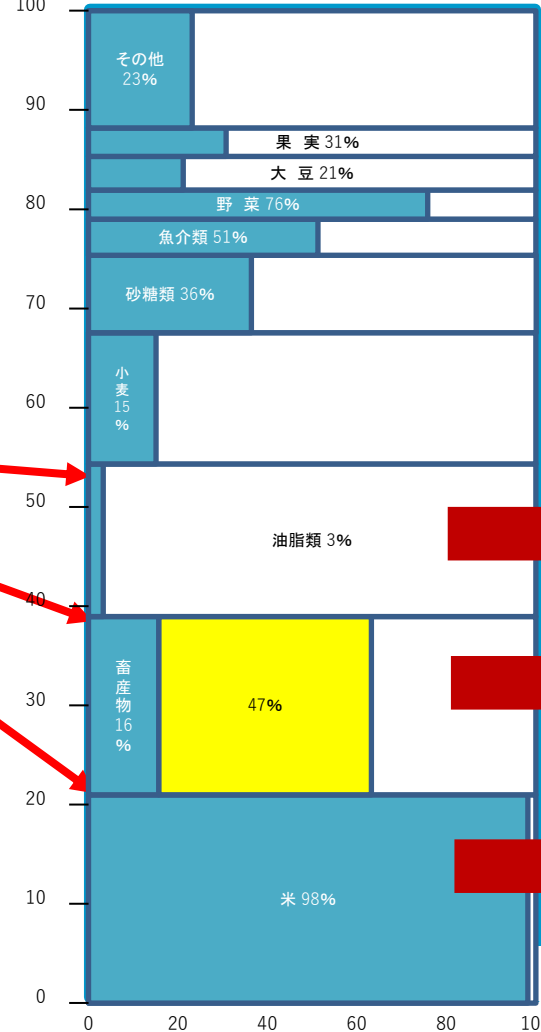
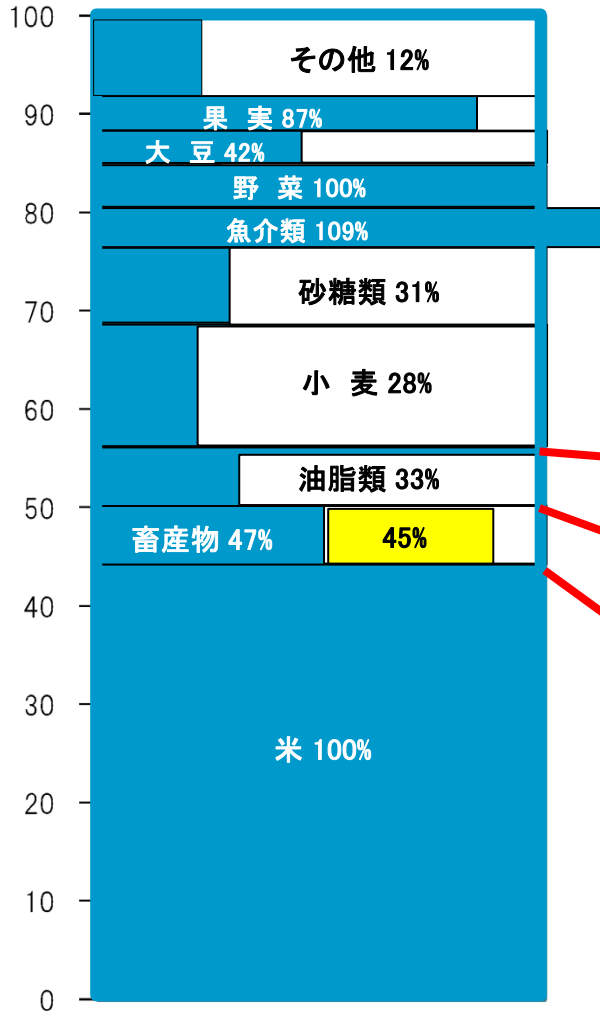


昭和40年(1965年)
食料自給率 73%

令和2年(2020年)
食料自給率 37%

総供給熱量 2,459 kcal / 人・日

総供給熱量 2,269 kcal / 人・日



凡例

- 輸入部分
- 輸入飼料による生産部分
- 自給部分

主な項目の
シェアの変化
1965→2020

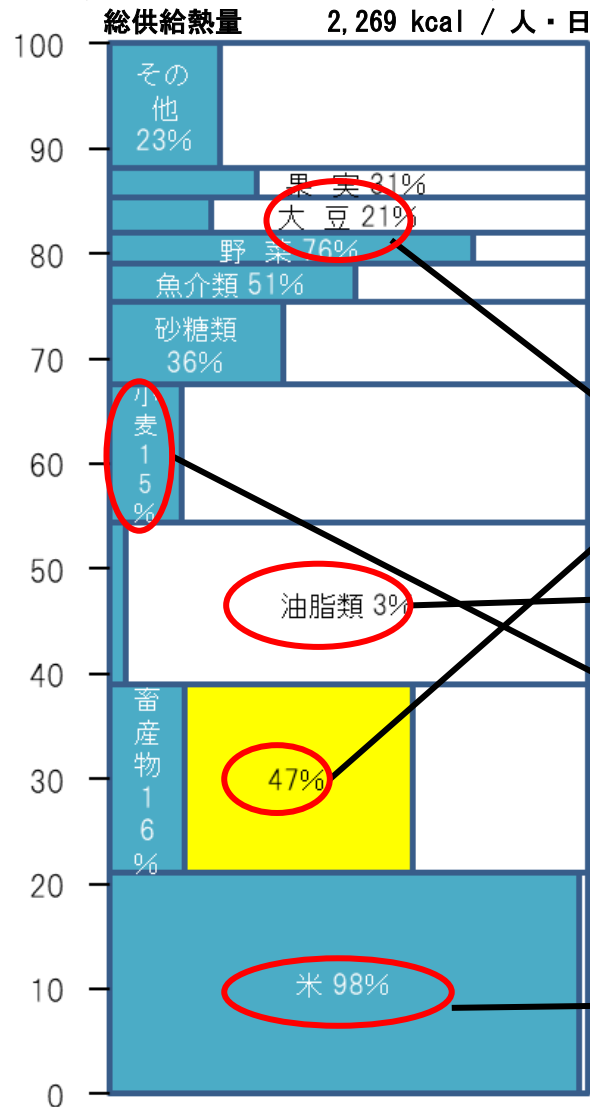
油脂類 (2.5倍増)
6% → 15%

畜産物 (3倍増)
6% → 18%

米 (半減)
44% → 21%

3. 食料安全保障政策の推進

(令和2年度：カロリーベース総合食料自給率37%)



食料安全保障政策推進の観点から、食料自給率・自給力の向上を図るため、水田をフル活用する施策等を重点的に実施する。

1. 輸入飼料を自給飼料に置換える対策

- ① 戦略作物助成(飼料用米,WCS用稲,飼料作物), 産地交付金
- ② 畜産生産力・生産体制強化対策事業
- ③ 草地関連基盤整備 等

2. 国産大豆の供給を強化する対策

- ① 戦略作物助成(大豆)、産地交付金
- ② 水田麦・大豆産地生産性向上事業 等

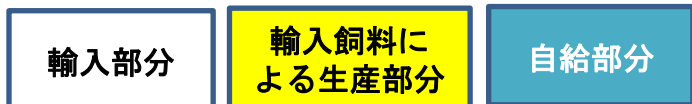
3. 国産麦の供給を強化する対策

- ① 戦略作物助成(麦)、産地交付金
- ② 水田麦・大豆産地生産性向上事業 等

4. 米の需要を拡大する対策

- ① 戦略作物助成(米粉用米)、産地交付金
- ② 食育推進、国産農産物消費拡大 等

凡例



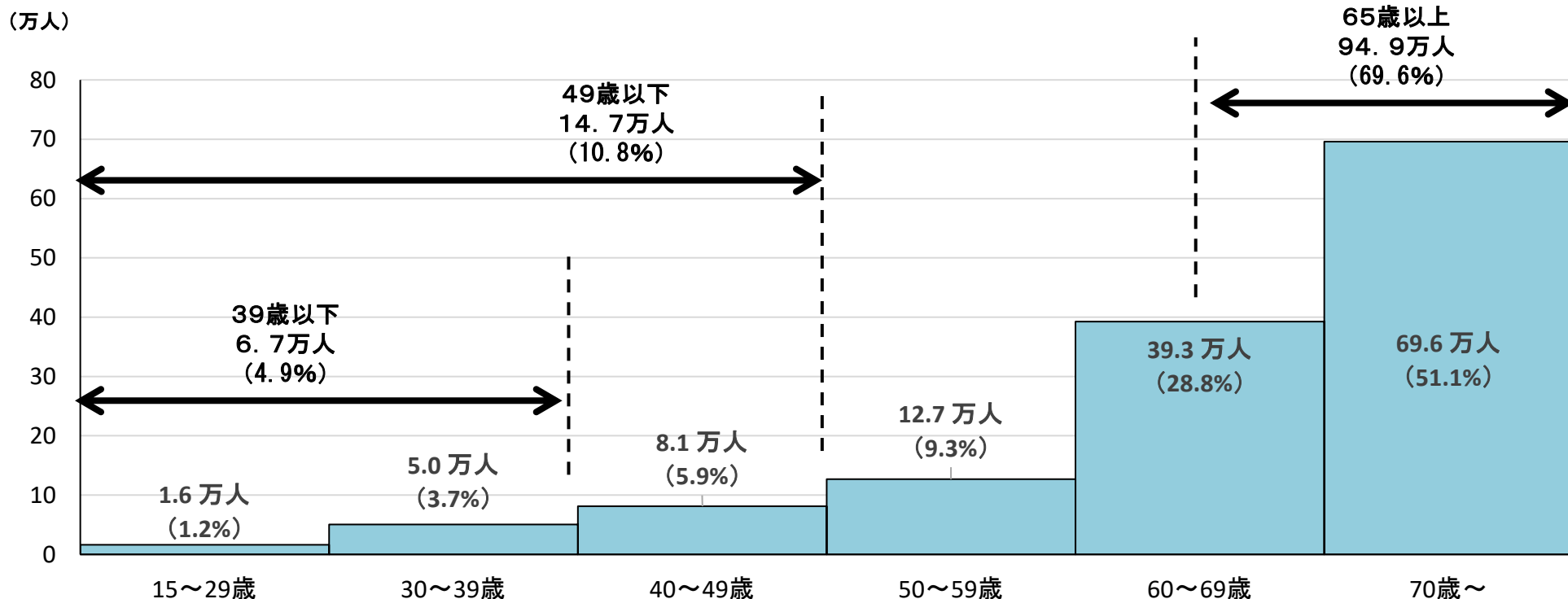
※「食料安全保障の確立に向けた新たな国民運動推進事業」なども実施注) 上記の戦略作物助成及び産地交付金は、水田活用の直接交付金のメニュー。

4. 我が国の農業従事者の年齢構成

- 我が国の基幹的農業従事者は、65歳以上が70%、49歳以下が11%

年齢階層別基幹的農業従事者数（令和2年2月1日現在）

基幹的農業従事者合計数136.3万人



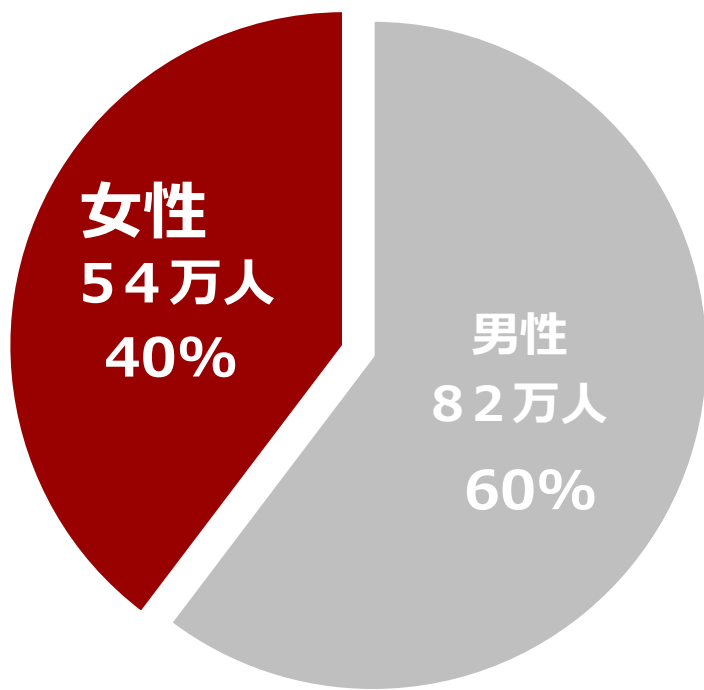
資料：農林水産省「農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

(基幹的農業従事者:15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者)

5. 農業就業人口に占める女性の割合

- 基幹的農業従事者のうち、女性は約4割で、農業の担い手として重要な役割。
- 新規就農者に占める女性の割合は24%。

基幹的農業従事者の男女割合
(令和2年)

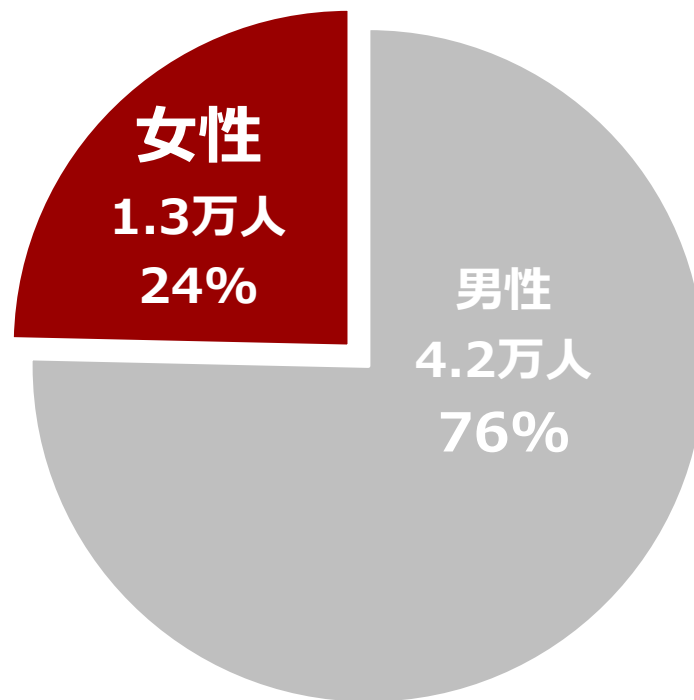


(資料)

農林水産省「2020年農林業センサス」。

注:「基幹的農業従事者」とは、15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事を主として主に自営農業に従事している者をいう。

新規就農者の男女割合
(令和元年)



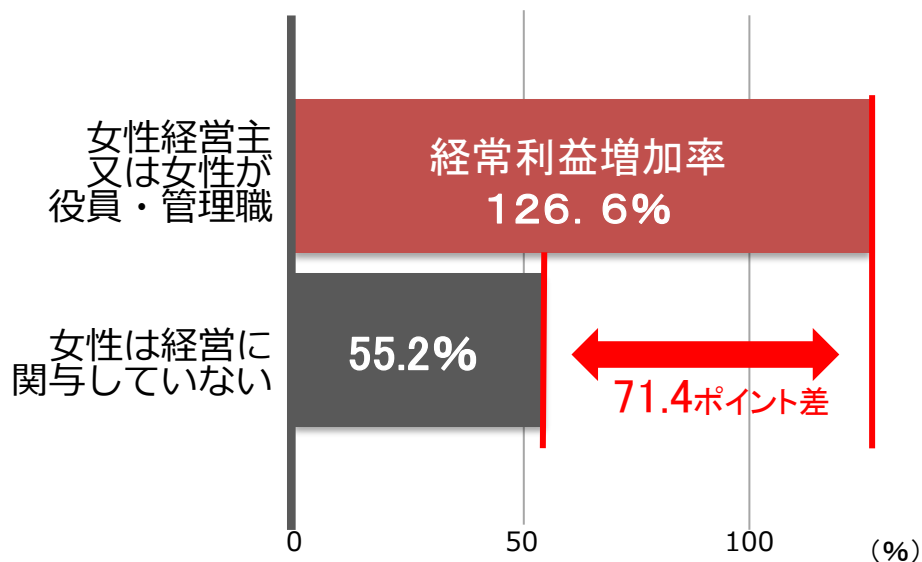
(資料)

農林水産省「令和元年新規就農者調査」

6. 女性と農業経営

- 女性が経営に関与していると**経営利益増加率が高く**、**売上規模が大きい経営体ほど女性が経営に関与している傾向**。

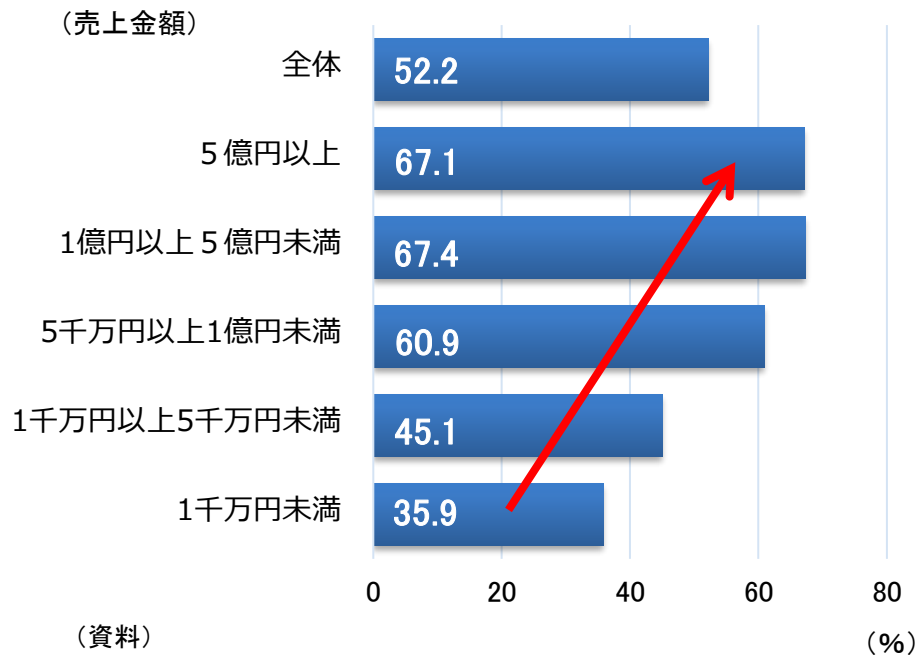
女性の経営への関与別
経常利益増加率
(直近3年間)



(資料)

- 株式会社日本政策金融公庫「平成28年上半期農業景況調査」(平成28年9月)による。
- 調査対象は、日本政策金融公庫のスーパーL資金又は農業改良資金の融資先。

売上規模別
女性が農業経営に
関与している割合



(資料)

- 株式会社日本政策金融公庫「令和元年度7月農業景況調査」(令和元年12月)による。
- 調査対象は、日本政策金融公庫のスーパーL資金又は農業改良資金の融資先。
- 役員や管理職などとして女性が1人以上経営に関与している経営体の割合を示す。

7. 女性の経営方針決定への関わり

- 女性の経営参画割合は、畜産農家において比較的高い傾向。

経営方針の決定への関わり(販売農家)

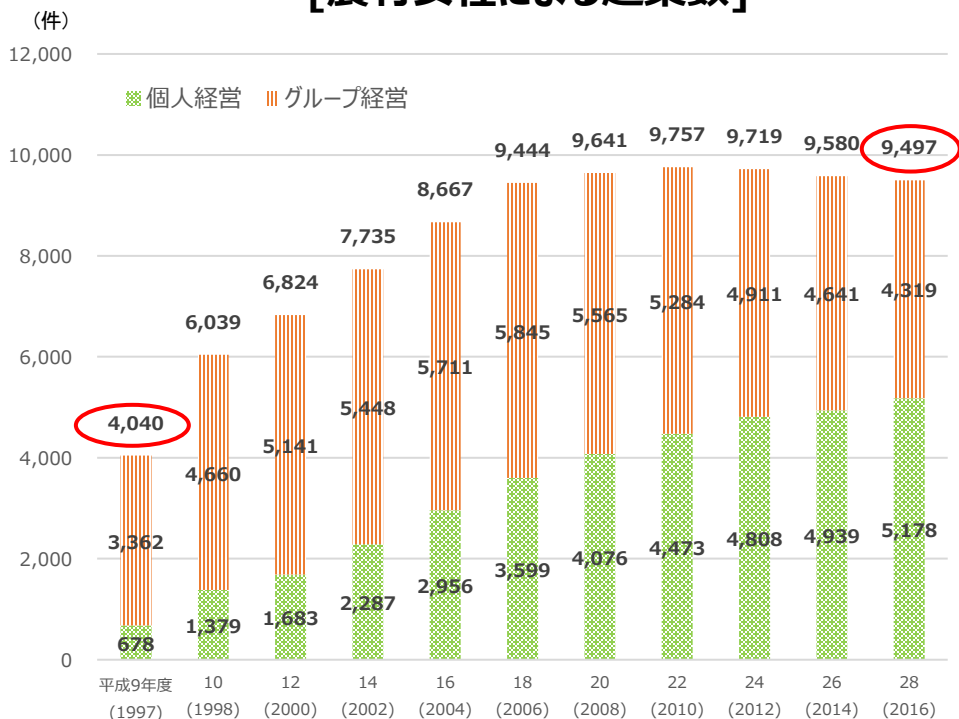
区 分	農業	酪農	肉用牛	養豚	養鶏
	構成割合	構成割合	構成割合	構成割合	構成割合
経営者が男性の農家	93.3	97.5	95.4	97.3	94.9
経営者以外で経営方針の決定に関わっている者がいる農家	44.9	66.3	55	60.7	58
男女が関わっている農家①	7.3	19.9	11.1	16.1	11.5
男性だけが関わっている農家	4.5	6.6	6.2	6.8	4.8
女性だけが関わっている農家②	33.1	39.7	37.7	37.8	41.7
経営者以外で経営方針の決定に関わっていない農家	48.4	31.2	40.4	36.6	36.9
経営者が女性の農家③	6.7	2.5	4.6	2.7	5.1
女性が経営方針の決定に関わっている農家 (=①+②+③)	47.1	62.1	53.4	56.6	58.3

資料:農林水産省「2015年農林業センサス」(販売農家)

8. 農村女性の起業動向

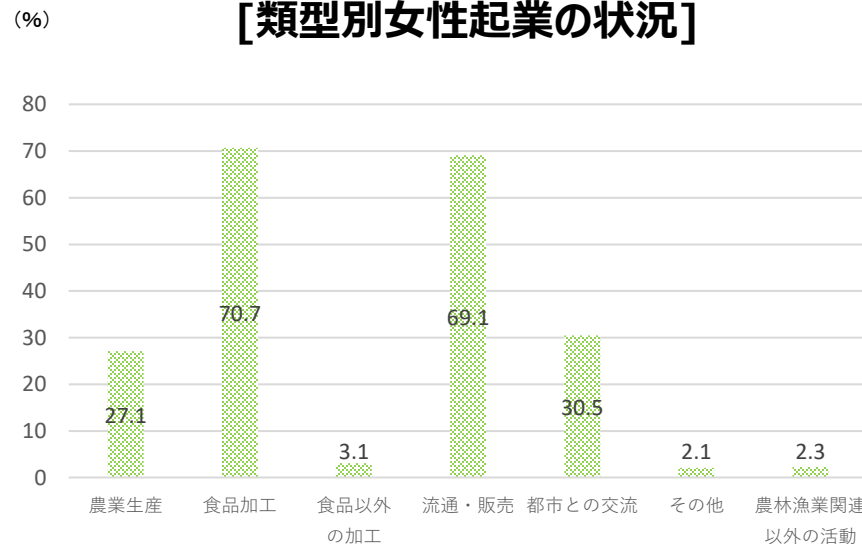
- 農村における女性による起業数は20年間で2倍以上に増加。
- 女性が加工や販売等の6次産業化部門を担当する場合、女性目線による細やかな気配りや対応、女性ならではのアイデアが経営面において強みとなっていると考えられる。

[農村女性による起業数]



資料：農林水産省「農村女性による起業活動実態調査」を基に作成
 注：本調査の対象とする「女性起業」とは、次の1)~3)に定める要件をすべて満たすもの
 1) 女性の収入につながる経済活動（無償ボランティアは除く。）であること
 2) 農村在住の女性が中心となつて行つ、地域産物を利用した農林漁業関連の経済活動であること
 3) 女性が主たる経営を担っている経営形態（個別、グループ）であること

[類型別女性起業の状況]



資料：農林水産省「平成28(2016)年度農村女性による起業活動実態調査」を基に作成
 注：起業件数全体に占める各類型の実施割合。複数取組を行う経営体が多いため、割合の合計は100%とならない。

[(参考)地域の女性グループ数]

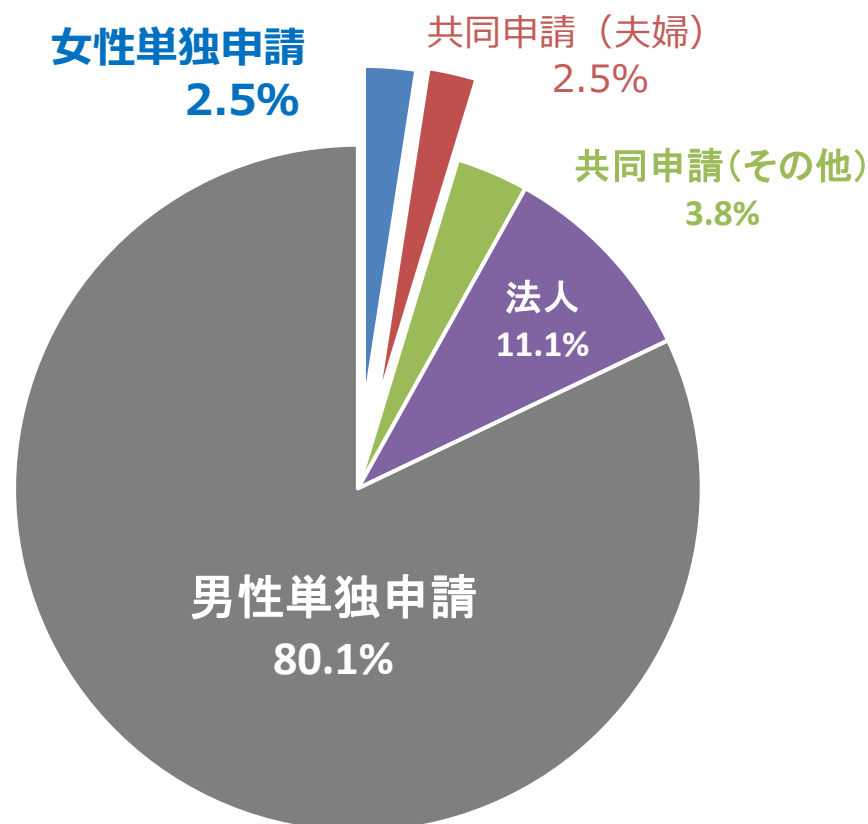
	調査年月	件数
農村女性起業数	平成28年	4,319
JA女性組織	令和元年7月	625
生活研究グループ	令和2年1月	1,214

資料：農林水産省「農村女性による起業活動実態調査」、JA全国女性組織協議会「JA女性組織とは」、全国農業会議所「生活研究グループ決算資料」を基に作成
 注：件数については一部重複あり

9. 女性の認定農業者及び認定新規就農者

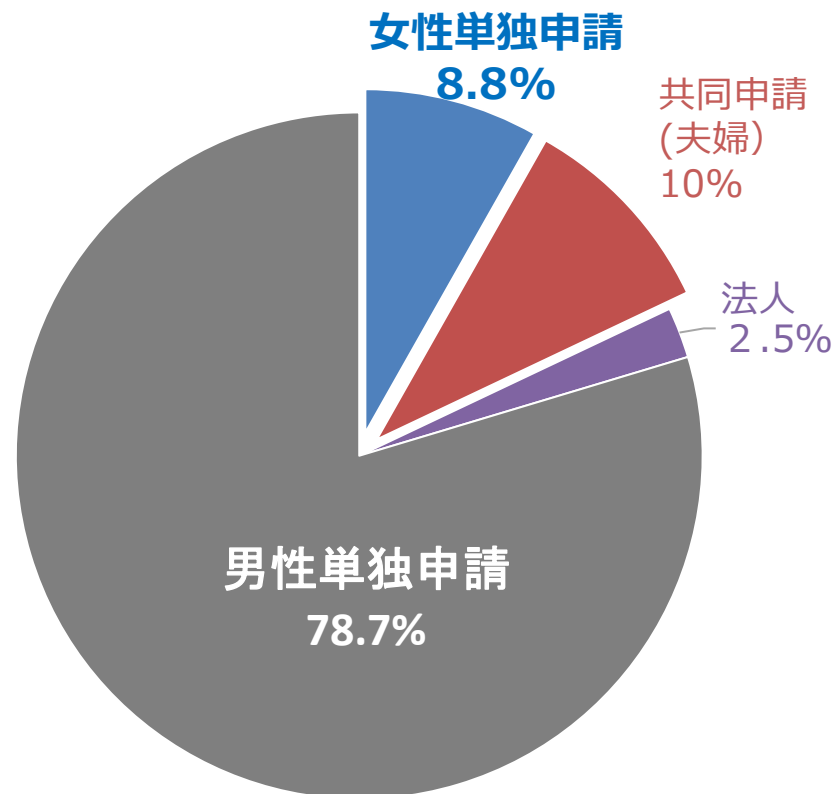
- 認定農業者数に占める女性の割合は約5パーセント。農業経営改善計画の共同申請の促進等に引き続き取り組むことが必要。

農業経営改善計画の認定状況 (令和元年度)



資料：農林水産省「農業経営改善計画の営農類型別認定状況」
令和2年3月末現在

青年等就農計画の認定状況 (令和元年度)

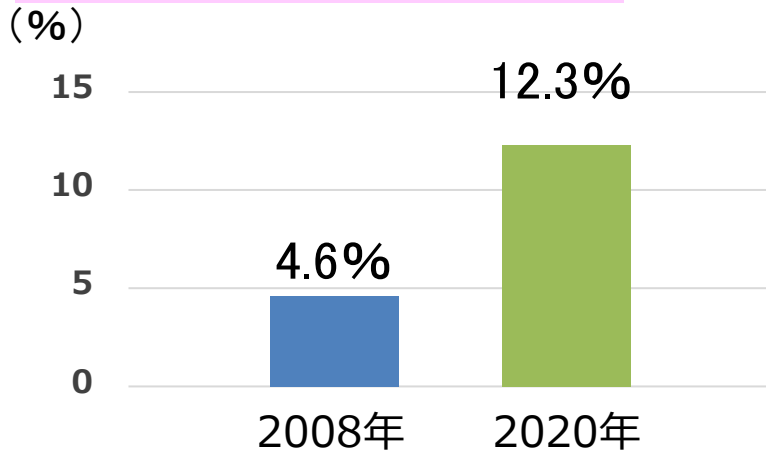


資料：農林水産省「認定新規就農者の認定状況」
令和2年3月末現在

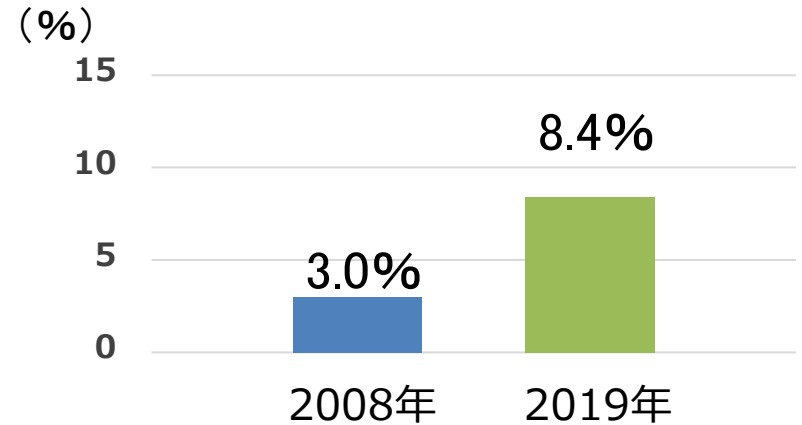
10. 地域の農業政策・方針決定過程への女性の参画

- 第5次男女共同参画基本計画（令和2年12月閣議決定）においては、農業委員に占める女性の割合、農業協同組合の役員に占める女性の割合の目標に加えて、新たに、土地改良区（土地改良区連合を含む。）の理事に占める女性の割合の目標を設定。

○農業委員に占める女性の割合



○農業協同組合の役員に占める女性の割合



第5次男女共同参画基本計画（令和2年12月閣議決定）における成果目標

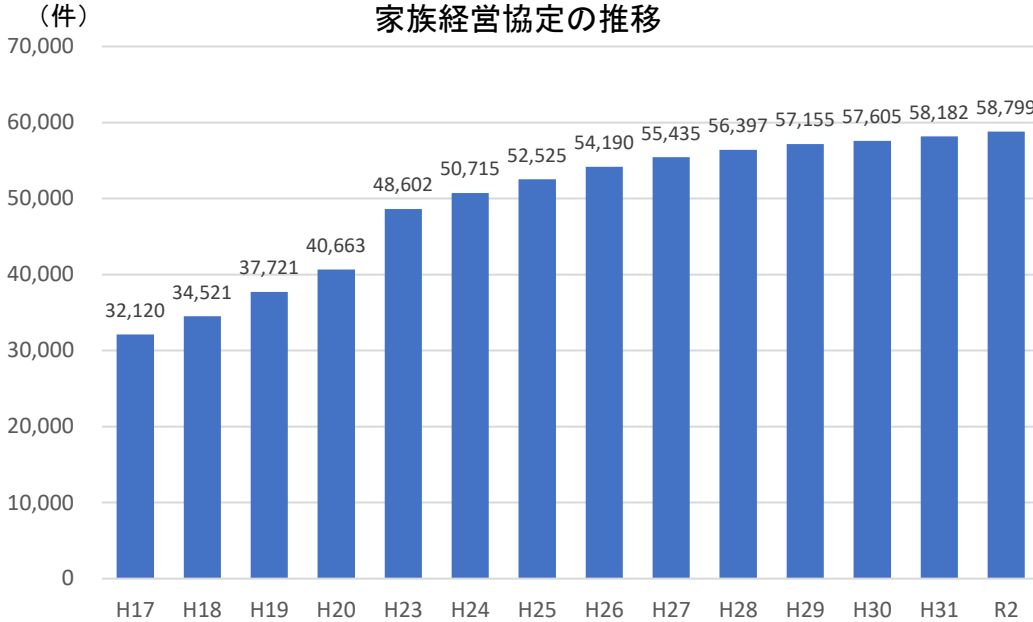
○農業委員に占める女性の割合
早期に**20%**、2025年度までに**30%**

○農業協同組合の役員に占める女性の割合
早期に**10%**、2025年度までに**15%**

※ 土地改良区（土地改良区連合を含む。）の理事に占める女性の割合について、2025年度までに**10%**とする目標を設定（2016年度は0.6%）。

11. 家族経営協定の推進

- 家族経営協定とは、近代的な家族農業経営の実現を目指し、経営の方針や家族一人ひとりの役割、就業条件・就業環境などについて家族みんなで話し合いながら、第三者の立ち会いの下、取り決めるもの。
- 第5次男女共同参画基本計画において、家族経営協定の締結数70,000件(2025年度)を成果目標に設定。



資料:農林水産省「家族経営協定に関する実態調査」

注1. 各年とも3月31日現在。

注2. 東日本大震災の影響により、平成23年の宮城県及び福島県の一部自治体の締結家数については、平成22年3月31日現在のデータを引用。

家族経営協定 締結農家数 (2019年度)	5.9万戸
主業農家数	23.0万戸
主業農家に占める締結農家の割合	25.5%

資料:農林水産省調べ(令和2年3月31日現在) ※主業農家とは農業収入が農外収入より多く、かつ65歳未満の農業従事60日以上の方がいる農家
注:複数回答。

取り決め内容	2019年度
農業経営の方針決定	94.1%
労働時間・休日	85.6%
農業面の役割分担(作業分担、簿記記帳等)	83.7%
労働報酬(日給・月給)	71.7%
収益の配分(日給・月給以外の利益の分配)	69.0%
経営移譲(継承を含む)	56.0%
生活面での役割分担(家事・育児・介護)	42.4%

制度上のメリット

- **農業次世代人材投資事業(経営開始型)**
夫婦ともに就農する場合は、夫婦合わせて1.5人分を給付。
- **認定農業者制度**
夫婦等による認定農業者の共同申請が可能。
- **農業者年金**
経営に参画している配偶者、後継者に対して、基本となる保険料のうち一定割合を国庫助成。

（家族経営協定の締結事例）

経営のパートナーとして、
互いに協力しながら前に進んでいく！

高知県長岡郡

○令和元年締結

○大玉トマト、
ミニトマト、ニンジン



夫婦で独立就農時に締結。

取決内容：農作業は共通で行いながら、生活面で家事全般を分担している。

締結の効果：それぞれが役割を持ち、共通の目標に向かって随時協力し合えるようになった。

「いちご、お客様、生産者」がともに満足でき、家族みんなが笑顔でいられる経営へ！

山口県岩国市

○令和元年締結

○いちご
(さちのか)



平成21年に夫婦で新規就農し、子供が保育園に入り、農業に本格的に取り組める時に締結

取決内容：家事、育児の役割分担、労働時間、休み方のルール等

締結の効果：対等な経営者としてパートナーシップ経営の実現につながった。

12. 女性活躍と経営発展のためのポータルサイト(STEP WAP)

令和元年度 農林水産省補助事業



だれでも
無料
NEWサイト
オープン



ステップワップ 

<https://step-wap.jp/>

ステップワップ **StepWAP** 農業の働き方改革

——男女共同参画による経営発展——



1
女性活躍の
ヒントが
満載!



2
経営発展に
役立つ情報が
見つかる



3
誰もが働きやすい
職場を目指した
改善策実例紹介

女性活躍と、経営発展に役立つ 情報が満載の新しいWEBサイト



「StepWAP～農業の働き方改革～WEBサイト」は、農業の働き方改革に特化したポータルサイトです。男女共同参画による経営発展を目的とし、今まではWEB上で一元的に探すのが困難だった各省庁や関係機関などで公表している情報も簡単に見つけることができます。



公益社団法人 **日本農業法人協会**

〒102-0084 東京都千代田区二番町9-8中労基協ビル1階

TEL:03-6268-9500 FAX:03-3237-6811

<http://hojin.or.jp/>

13. 「農業女子プロジェクト」について

(1) 概要

趣旨

「農業女子プロジェクト」(2013年設立)は、農業内外の多様な企業・教育機関等と連携して、農業女子の知恵を生かした新たな商品・サービスの開発、未来の農業女子をはぐくむ活動、情報発信等を行い、社会全体での女性農業者の存在感を高め、女性農業者自らの意識の改革、経営力発展を促し、職業としての農業を選択する若手女性の増加を図ります。農業女子同士のネットワークづくりにも取り組んでいます。

参加メンバーデータ



農業女子メンバー
全国 **845**名



参画企業
39社



教育機関
7校

(2021年5月時点)

具体的な取組

企業プロジェクト

企業と農業女子メンバーが協同で新たな商品やサービスの開発等を行い、女性農業者の活躍や魅力を発信(それぞれの企業活動の一環として推進)

チーム“はぐくみ”

高校・大学等の教育機関と活躍する魅力ある農業女子メンバーが連携し、農業を志す学生の発掘や動機づけ、意識の向上のための取組を実施

SDGs活動の発信

“農業者のわたしたちができる5つのこと”として農業女子メンバーのSDGs活動を発信

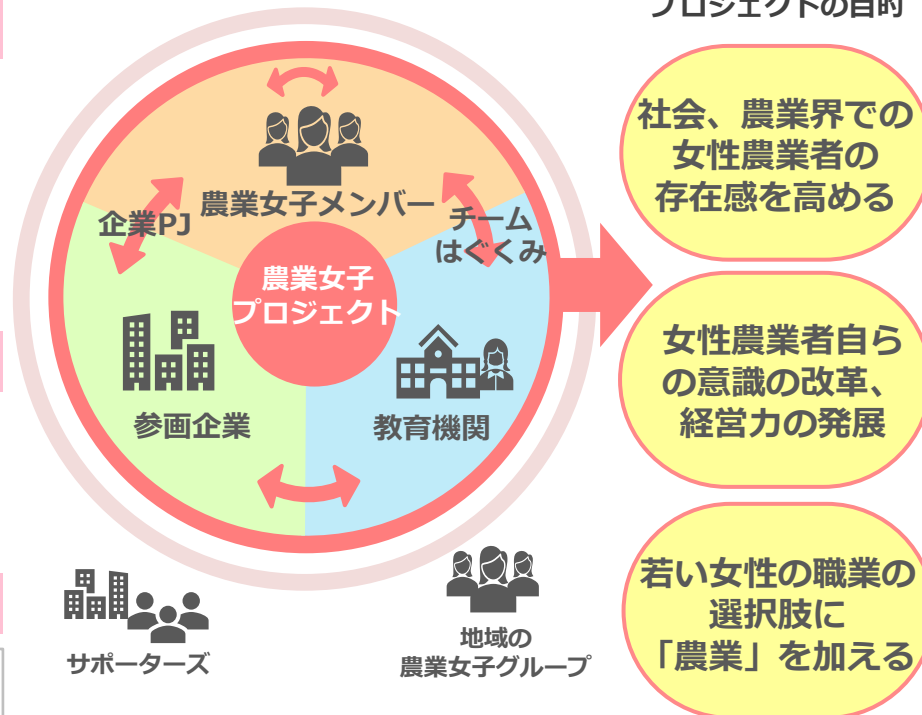
農業女子ラボ活動

メンバー自らの関心の高いテーマについて自主的に勉強会等を実施

SNSやイベント等を活用した
女性農業者の魅力発信



プロジェクトの目的



社会、農業界での
女性農業者の
存在感を高める

女性農業者自らの
意識の改革、
経営力の発展

若い女性の職業の
選択肢に
「農業」を加える

第8期 農業女子プロジェクトの活動方針

(2020年11月～2021年10月)

グループ同士の繋がりづくりによる
全国の農業女子メンバーのネットワーク強化!

- 1 地域グループや農業女子ラボ等の自主的な活動の推進
- 2 個人・グループ間のネットワーク作りの促進
- 3 SDGsに係る取組の推進(6期に引き続き)

(2) これまでの企業プロジェクトの主な成果

カネコ総業

女性も使いやすい農具を開発

◆【Lacuno】シリーズ [2021.1]

・手になじみ、作業しやすく疲れにくい
らくらくグリップシリーズ「Lacuno」
(ショベル・キッズ鎌・鍬)の開発



◆【Lacuno】シリーズ (鎌・鍬・レーキ) [2018.11]



株式会社しまむら

農業女子と作業着のお悩みを解消

◆農業女子の声をもとに開発 (野菜プリントTシャツ、ファーマーシャツ、 ジョガーパンツ) [2020.11]

農業女子の意見
を取り入れて、機
能性が高く、お手
頃で使いやすい商
品を開発。



モンベル

農作業も快適な作業着を開発

◆フィールド クールパーカ Women's [2021.1]

農業女子の意見を取り入れて、素材や
シルエットにこだわり、暑い季節の農
作業を快適にする速乾性・通気性に優
れたパーカを開発



◆フィールドもんぺ Women's [2019.3]

◆フィールドレイン ジャケットWomen's・ フィールドレインパンツWomen's [2018.9]

◆クリマプロ フィールドストレッチ カバーオールWomen's [2016.9]

井関農機

女性も使いやすい農業機械を開発

◆農業女子草刈機『プチもあ』 [2017.12]

・動画で使用方法等を確認できるQRコー
ドを添付
・サイドクラッチレバーやグリップを
操作しやすく改良



◆耕転機『ちょこプチ』 [2016.12]

◆トラクタ『しろプチ』 [2015.6]

バンダイナムコエンターテインメント

農業女子とのコラボイベントを実施

◆「831やさいフェスタ」農業女子 が野菜の魅力を発信 [2019.8]

・8月31日「やさいの日」に、(株)バンダイ
ナムコエンターテインメントの未就学児向け施
設「あそびパークPLUS」にて農業女子によ
る食育イベントを実施



楽天

ネット販売で農業女子をPR

◆「ラクマ」にて農業女子の野菜・ 加工品販売 [2017.11~]

・農業女子の魅力が詰まった特設サイトも開設
・ECで顔の見える販売を実現



農業女子PJ × Rakuten ラクマ



丸山製作所

女性も使いやすい農業機械を開発

◆噴霧機『きりり』 [2017.11]

- 背当てや背負いバンドを背負いやすく改良
- 希釈倍率表を添付し薬剤の混合量がすぐわかる



◆草刈機『かる～の』 [2015.7]



東洋ハウジング

農業女子の視点を取り入れたモデルハウス

◆モデルハウス『na go mi no N-jyo』オープン [2016.5]

- 土間を採用、農業と生活が両立しやすい間取り
- 農業女子らしく自然の素材をとりこんだぬくもりの家



東和コーポレーション

女性の知恵を生かした手袋を開発

◆多機能手袋『農業女子Gloves』 [2017.6]

- スマートフォン対応、UVカット機能付きなど、メンバーの意見を活かして開発
- 商品名に初めて「農業女子」のネーミングを採用



◆インナー手袋『ロツティ』 [2015.12]



三越伊勢丹

農業女子コラボ商品の販売

◆お中元・お歳暮ギフトでコラボ商品を販売 [2014.10～]

- お中元・お歳暮ギフトで農業女子の農産物を使用した商品を販売。伊勢丹新宿店でマルシェも実施。



コンビウイズ

農業女子と農業イベントを開催

◆子ども向け農作業体験 [2017.5～]

- 保育園児対象に農業女子メンバーの圃場での農作業体験、栄養士・給食スタッフ対象に料理教室を実施



ダイハツ工業

女性目線の軽トラック開発

◆女性目線の軽トラックの開発 [2014.9]

- カラフルな全8色のボディカラー
- UVカットガラス採用。フロアの高さを下げるなど乗降しやすく。



(3) 農業女子プロジェクト参画企業



参画企業

第1期 (2013.11~)	井関農機 「夢ある農業女子」応援Project	ダイハツ工業 農業女子マルシェ×ハイゼットトラック全国展開	モンベル フィールドウェア開発プロジェクト	レンタルのニッケン 農業女子的労働環境改善PJ		
	タニタ ご当地タニタごはんコンテストとともに農業女子と健康まちおこし!	三越伊勢丹 農業女子一人一人の想いを形にする・伝える・届けるプロジェクト	サカタのタネ ハッピーベジタブルで「新野菜」の需要創造!プロジェクト	丸山製作所 ドローンで省力化!農業女子応援プロジェクト		
第2期 (2014.11~)	SHARP 夏の作業もTEKION(テキワ)でクールに決めよう!	東邦 汚れも悩みもスッキリ!農業をもっと楽しく!プロジェクト	東洋ハウジング 農業女子と考える住まいと地域のミライ・プロジェクト	東和コーポレーション プロジェクトA	バンダイナムコエンターテインメント 『農業×エンタメ』創出プロジェクト	
第3期 (2015.11~)	城北信用金庫 「作る」から「創る」へ!ビジネス&ライフ応援	NTTドコモ スマート農業で農業女子の更なる環境改善・向上を!	フマキラー 「素敵・未来・ガーデン」プロジェクト			
第4期 (2016.11~)	豊島 農業女子的ファッション改革PJ	コンビ/コンビウイズ 「おいしい!」を未来までつなげようプロジェクト	大日本印刷 農業女子の未来のあたりまえをつくるPJ	近正 農作業を快適に!農業女子サポートPJ	カネコ総業 プロ向け・家庭菜園向けの使いやすい便利用品の開発	
第5期 (2017.11~)	日本農薬 明日の農業女子を考える日農PJ	楽天 「農業女子PJ×ラクマファーマーズマーケット」認知拡大PJ	ヤマト運輸 農業女子×クロネコヤマトの「物流支援を考える」プロジェクト	象印マホービン 農業女子 In ライフスマイルプロジェクト	アイアグリ 農家のみなさんに届け!	Kewpie あいちみんなのサラダ
第6期 (2018.11~)	しまむら しまむら × 農業女子PJ	温泉道場 農女プロデュース 替わり風呂PJ	桃谷順天館 美味しく食べて、腸からキレイに! Bistro M's PJ	精工 女子力でブランド力と経営力を向上!		
第7期 (2019.11~)	全国農協観光協会 農業女子つなぐプロジェクト	日本品質保証機構 農業女子プロジェクト G A P 講座	ヘッズ くだもの&野菜をギフトに! 新しいマーケットは女子力で	ミズホ 食べる健康!美味しいは安全プロジェクト	カクイチ カクイチ A-SITE を活用した農業女子活動促進	
第8期 (2020.11~)	ミズノ モノ・コト農業改善プロジェクト	味の素ヘルシーサプライ アミノ酸から植物の元気を広げよう!プロジェクト	NTTレゾナント マルシェル農業女子オンライン販売応援プロジェクト			



(4) 教育機関と未来の農業女子をはぐくむ活動を展開

チーム“はぐくみ”

第3期
(2015.11~)

東京農業大学

新たなワークスタイルを提案するkawaii農業女子育成PJ

浦田女子高等学校

農業からはばたけ！
チャレンジ&応援PJ

第4期
(2016.11~)

産業能率大学

大学生(女子大生)による農業女子PJのインスタグラムによる情報発信

第5期
(2017.11~)

近畿大学

近大流
農業女子育成PJ

東京家政大学

SDGs野菜まるっと
使い切りレシピ

桜美林大学

農業女子という
未来型ライフスタイル

第6期
(2018.11~)

山形大学

地域がはぐくむ
未来の農業女子PJ

東京家政大学

- 象印マホービンの「ごはん会議」に、お米を生産する農業女子メンバーとともに参加
- 学祭のカフェで農業女子メンバーとコラボ



東京農業大学

- 卒業生である農業女子メンバーが母校で講演
- 農業女子メンバーの農場でのインターンシップや、自治体・参画企業と連携した取組を実施



産業能率大学

- 農業インターンシップも体験しつつ経営学の観点から現場に寄り添ったマーケティングプランを考案



桜美林大学

- 農業女子メンバーのもとへ出向きインタビューを実施し、農業女子のワーク・ライフ・バランスの現状と課題を分析



浦田女子高等学校

- 普通科の女子高校で、キャリア教育の一環として田植えや収穫後の米の加工、販売等に取組
- 就農した卒業生も存在



近畿大学

- 卒業生である農業女子メンバーが母校で講演
- 農業女子メンバーの農場でインターンシップを実施



山形大学

- 農業女子メンバーと学生によるワークショップ
- 農業女子プロジェクトメンバーによる講義
- 農業女子メンバーの農場でのインターンシップ



(5) 「農業女子プロジェクト」活動の拡大、発展

- 農業女子メンバーが地域グループを立ちあげ、積極的に活動を展開。
- 農業女子メンバーが香港でフェアを開催。国際会議でも活躍。
- 参画企業が連携したPR活動も実施。
- やりたいことの自主提案を推進（農業女子ラボ）

農業女子PJの地域版グループ

農業女子プロジェクトから派生した地域版グループ（スピンアウト）も全国に7グループ発足。
メンバーのアイデアや課題に共感する企業とのコラボ活動の実施が促進。



PRIDE

Women's farmers



農業女子自らが主体となって
全国の農業女子が繋がる
新たなグループを発足



農業女子が自ら企画し
香港フェアを実施



地域グループが開催した
農業機械セミナー

地域版グループ（スピンアウト）を含めて全国では様々な農業女子グループが活発に活動中です！

詳しくは特設ページで
ご紹介しています。



(6) 日本の女性農業者の取組を世界へ発信

【国連食糧農業機関(FAO)アジア・太平洋地域事務所「模範農業者賞」受賞】
大津愛梨さん(熊本県 **農業女子PJメンバー**) (2017年10月16日、タイ国)



【取組概要】

○2003年、夫と共に南阿蘇村で就農。無農薬米を栽培する傍ら、再生可能エネルギーの普及活動に取り組んでいます。また、「田舎のヒロインズ」の代表を務め、**田舎のあり方や農業を営む女性の生き方を模索・提案**しています。

○2016年に発生した**熊本地震からの「創造的復興」**を目指し、阿蘇の自然と地元食材を使った料理を楽しめる「レストランバス」をプロデュースするなど、**被災地の復興**に向けた活動にも取り組んでいます。

【国連女性の地位委員会(CSW)のサイドイベントで我が国の女性農業者の活躍を世界に発信】
結城こずえさん(山形県 **農業女子PJメンバー**) (2018年3月15日、国連本部(アメリカ))



【開催概要】

○日本の3NGOと国連代表部が開催したCSWサイドイベント「農山漁村地域の女性と少女のエンパワーメントに向けての活動」において、結城こずえさんがスピーカーとして登場しました。

○日本、ネパール、タンザニア、FAOより活動を紹介し、結城こずえさんからは、農業女子プロジェクトを通じて知り合った**女性農業者のネットワーク**が加工や販路開拓など**自身の経営の発展に繋がったこと**や、**次世代のリーダー育成のための環境づくり**にも取り組んでいくこと等を発表しました。

14. 女性農業者が輝く農業創造のための提言の概要(2020年12月公表)

～見つけて、位置づけて、つなげる～

- ✓ 令和2年7月、農業や農村に女性を呼び込み、発展させていくため、女性農業者が活躍できる環境を整える具体的方策を検討することを目的に、令和2年12月の第5次男女共同参画基本計画策定も見据えて、農林水産省経営局において検討会を立上げ
- ✓ 平成4年の「農山漁村の女性に関する中長期ビジョン」での課題を総括し、取り組むべき対策等を提言

【これまでの進捗と評価】

- 「めざそうとする姿」を実現している女性農業者が増加しているが、依然として女性農業者の能力発揮を妨げる状況が続いている
- より踏み込んで女性が外に出て活動しやすくなるための環境を整備していく必要

【提言された主な対策】

農村における意識改革

- 研修・会合の案内の宛先への夫婦両方の名前や子の名前を記載、女性農業者向け会合等における託児サービスの提供、介護サービスを利用しやすくするための早期の案内発出
- 家族経営協定について、農業高校生や経営継承者等への周知、ライフステージに応じた協定内容の見直し等の推進

女性農業者の学び合い・女性グループ活動の活性化

- 都道府県や市町村における女性農業者向けの一元的相談窓口の設置
- 女性グループの活動の発掘、グループをつなぐ横断的ネットワークづくりの推進
- 子育て、介護支援に係る情報発信

地域をリードする女性農業者育成・地域農業の方針策定への女性の参画

- 女性リーダー育成研修、女性の横断的交流の推進
- 農業委員やJA役員への女性の登用についての継続的な目標設定、都道府県・市町村における具体的な目標の設定
- 女性登用と組織の収益向上に係る客観的調査の実施
- 市町村・農業委員会で、地域での話合いにおける女性参画目標を設定

女性農業者に係るプラットフォーム機能の強化

- 農林水産省女性活躍推進室がプラットフォームとして、他省庁、都道府県、市町村、JA、農業委員会、全国農業会議所等と連携強化
- 10年を目安にレビューを実施

15. 女性の力が農業・農村を元気にする

農業の視点

経営の効率化、作業環境の整備、
6次産業化、団体役員・・・



生活の視点

農泊、農村文化、農福連携、
食育、地域づくり・・・

消費の視点

食品の安全・安心、包装、
食品表示・・・

農業経営

・氏名：栗本 めぐみ

R2年度農林水産祭
日本農林漁業振興会会長賞

・市町村：静岡県御前崎市

・取組概要：

高校生の時に抱いた「農業をやりたい」という夢を実現するため、東京農大卒業後、一般企業で農業の現状やマネジメント等を学び、いちご農家として就農。

作業効率の向上策を実践し、徹底したデータ記帳と経営の見える化や、福利厚生充実等女性が働きやすい環境づくりを徹底。



(写真左)
KURI BERRYFARMメンバーの皆様



(写真右)
交換日記形式の作業日報

女性が働きやすい環境の整備

・法人名：ウーマンメイク株式会社

R元年度農山漁村女性活躍表彰
農林水産大臣賞

・市町村：大分県国東市

・取組概要：

「おいしい野菜とともに、次世代をも女性が作る」という想いから創業。

従業員が全員女性の同社では、女性が働きやすい環境をつくることを目指しており、軽量の野菜であるレタスを水耕栽培することで力仕事をなくし、女性の力だけでできる農業を実現。



(写真左)
ウーマンメイクの従業員は全員女性

(写真右)
水耕栽培によりレタスを生産



6次産業化・食育

・法人名：株式会社ビストロくるるん
〔R2年度農林水産祭内閣総理大臣賞〕

・市町村：福岡県三潞郡大木町

・取組概要：

大木町の資源循環型まちづくりの一環として建設された道の駅にある、女性だけで経営している地産地消のビュッフェスタイルレストラン。

地域農産物を活かした経営を行い、地元農家との協働による農業の魅力発信、食品ロス削減に向けた取組み、小学生への食育授業や高齢者向け配食サービス等にも注力。



(写真左)
女性のみで経営している「ビストロクルルン」の皆様



(写真右)
町内の6年生をレストランに無償で招待し、食育を実施。

団体役員

・氏名：那須 真理子
〔R元年度農林水産祭内閣総理大臣賞〕

・市町村：熊本県菊池郡菊陽町

・取組概要：

H15年から12年間農業委員を務め、H23年には同町初の女性農業委員会会長に就任、H27には菊陽町議会議員に当選するなど、地域の要職を歴任。

「みずき座」では自ら脚本を書き「男女共同参画」を啓発する演劇を上演するなど、農村における意識改革や女性の登用に尽力。



(写真右)
「みずき座」での活動の様子



地域活動(農泊、農村文化)

・**組織名**：大館市まるごと体験推進協議会
〔 第5回ディスカバー農山漁村の宝 〕
〔 団体賞 〕

・**市町村**：秋田県大館市

・**取組概要**：

大館市の農家女性が集まり、農業体験や本場のきりたんぼづくり体験を核とした農泊等の受入推進を図り、地域の活性化に尽力。

台湾に出向いてPRキャンペーンを実施するなど、外国人の宿泊者が0人（H28）から268人（R元）の増加につながった。



(写真左)
言葉から地域を伝える秋田弁ラジオ体操の様子



(写真右)
本場のきりたんぼづくり体験の様子

地域活動(農福連携、食育)

・**氏名**：笠間 令子
〔 第7回ディスカバー農山漁村の宝 〕
〔 個人賞 〕

・**市町村**：石川県河北郡内灘町^{うちなだまち}

・**取組概要**：

医療従事者の経験をした農家の妻として、農福連携を推進し、障がい者に小松菜の収穫や枝豆の選別を依頼。農福連携促進アドバイザーとして、農家と施設のマッチング、関係者への助言などを実施。

農福連携として年間6施設と関わり、収穫物の6次産業化や小中学生等への食育も実践。



(写真左)
農園従業員と施設外就労の障がい者の皆様



(写真右)
地域の小学生が、毎年農業見学に来園している

地域づくり

・**組織名**：あおもり^{みどり}水土里ネット女性の会
〔 R2年度東北農政局ディスカバー
農山漁村の宝 東北農政局選定団体 〕

・**市町村**：青森県青森市

・**取組概要**：

会員の自覚と自信を高め、高収益作物（玉ねぎ）の推進活動を行い、地域の食材に対する県民の理解醸成を推進。

地元のラジオCM出演や、玉ねぎの収穫・調理体験や定植を行い、女性視点の地域の魅力発信に努める。



(写真左)
玉ねぎ収穫体験会の様子

(写真右)
ラジオCMのアナウンスに挑戦し、活動を紹介



安心安全

・**氏名**：澤田 たみ子
〔 R2年度農山漁村女性活躍表彰
農林水産大臣賞 〕

・**市町村**：鹿児島県出水市^{いづみし}

・**取組概要**：

昭和63年から特別栽培米を生協等へ販売、消費者交流や農業体験に取り組み、平成15年には、米で有機JAS認証を取得し、鹿児島県有機農業協会の理事として、有機農業の推進、普及啓発に貢献。

平成23年、鹿児島県生活研究グループ連絡協議会会長に就任、後継者の確保・育成に尽力。



(写真左)
澤田さんの講演の様子

(写真右)
田植えの農業体験の様子



16. 都道府県水土里ネット女性の会の設立状況

平成17年度

山口県「やまぐち水土里ネット女性の会」

平成20年度

千葉県「ちば水土里ネット女性の会」

平成29年度

宮城県「みやぎ水土里ネット女性の会」
山梨県「やまなし水土里ネット女性の会」
富山県「とやま水土里ネット女性の会」
鳥取県「とっとり水土里の女性会」
宮崎県「日本のひなた水土里ネット女子会」

平成30年度

青森県「あおもり水土里ネット女性の会」
和歌山県「わかやま水土里ネット女性の会」
熊本県「くまもと水土里ネット女性の会」
大分県「おおいた水土里ネット女性の会」

令和元年度

秋田県「あきた水土里ネット女性の会」
山形県「やまがた水土里ネット女性の会」
群馬県「ぐんま水土里ネット女性の会」
徳島県「あわ水土里女性の会」
香川県「かがわ水土里ネット女性の会」
長崎県「ながさき水土里ネット女性の会」

令和2年度

栃木県「とちぎ水土里ネット女性の会」
兵庫県「ひょうご水土里ネット女性の会」
愛知県「あいち水土里ネット女性の会」
岡山県「おかやま水土里ネット女性の会」

令和3年度

島根県「しまね水土里女性の会」
岩手県「いわて水土里ネット女性の会」
岐阜県「ぎふ水土里ネット女性の会」
京都府「京都水土里ネット女性の会」

計 25 の女性の会が設立

水土里ネット女性の会の活動状況



・令和元年度

【くまもと水土里ネット女性の会】

「くまもと水土里マルシェ」の開催 令和元年11月3日

中山間地域の魅力や水土里ネットの役割を発信するため、都市住民との交流を目的として開催。
パネル展示、県内4地域で収穫された新米の試食販売、県内各地の野菜や果物、花類などの農産物をPR。



・令和2年度

【あおもり水土里ネット女性の会】

①「ビジョンアップセミナー」の開催 令和2年9月24日

女性初のねぶた師、北村麻子氏による講演会及びねぶた制作体験。

男女の差を感じる世界で、自分の夢を叶えるために、前向きに取り組むことの大切さを教えていただいた。

②「ラジオ時報CM」 ラジオ時報CM放送期間：令和2年9月14日～令和2年10月16日

青森県の良質でおいしい農産物の生産基盤を支えている土地改良区の役割を、広く一般県民に知っていただくため、広報活動を実施した。

③「食料産業・6次産業化交付金 地域での食育の推進事業（農業体験会）」 令和2年10月15日



【とっとり水土里の女性会】 「環境保全活動」の実施 令和2年5月14日～10月3日

遊休農地へのサツマイモ植付～収穫

遊休農地解消の一助になればと2018年度から取り組んでいる事業の1つである。

第5次男女共同参画基本計画（2020.12 閣議決定）抜粋

第2部 政策編

I あらゆる分野における女性の参画拡大

第3分野 地域における男女共同参画の推進

2 農林水産業における男女共同参画の推進

(1) 施策の基本的方向

- 国民生活に必要な食料を供給する機能とともに国土保全等の多面的機能を有する農林水産業を支え、また、発展させていく上で、女性は重要な役割を果たしている。しかしながら、農林水産業の就業者数が減少し続ける中で、例えば、基幹的農業従事者に占める女性の割合は低下傾向にある。都市部への女性の流出が続き、農山漁村への還流・流入は少ない。
- 農林水産業の発展、農山漁村への人材の呼び込みのためには、女性が働きやすく暮らしやすい農山漁村にすることが重要であり、女性が地域の方針策定に参画し、女性の声を反映させていくことが必要である。
- 「田園回帰」の動きが見られる中で、移住や定住、地域おこし協力隊などで農林水産業や農山漁村との関わりを志向する都市部の女性が増えている。例えば農業においては、親元就農や結婚とともに就農するだけでなく雇用就農や新規参入もみられるなど、女性の農林水産業への関わり方は多様化しており、それぞれの形態に応じたきめ細かな支援が必要である。
- このため、「食料・農業・農村基本計画」等に基づき、女性の経営への参画を推進するとともに、地域をリードする女性農林水産業者を育成し、農山漁村に関する方針策定への女性の参画を推進する。また、女性が働きやすい環境の整備や育児・介護等の負担の軽減、固定的な性別役割分担意識とこうした意識に基づく行動の変革に向けた取組を推進する。

(2) 具体的な取組

ア 農林水産業における政策・方針決定過程への女性参画の推進

- ① 地域をリードできる女性農林水産業者を育成し、農業委員や農業協同組合、森林組合、漁業協同組合の役員及び土地改良区等の理事に占める女性の割合の向上や女性登用ゼロからの脱却に向けた取組などを一層推進する。また、改正された女性活躍推進法に基づき、一般事業主行動計画の策定義務等の対象が拡大する機を捉え、女性活躍推進法の適用がある事業主については、同法に基づく事業主行動計画の策定等の仕組みを活用し、女性の活躍推進に向けた取組を推進するよう要請する。また、地方公共団体、農林水産団体等に対して、具体的な目標の設定や女性の参画を促進する仕組みづくりを働きかける。
【内閣府、厚生労働省、農林水産省】
- ② 地域の農業を牽引するリーダーとなり得る女性農業経営者を育成するため、実践型研修を実施する。
【農林水産省】
- ③ 女性が役員の過半を占める農業法人等が事業を実施する場合に貸付限度額を引き上げる特例措置を設けた融資を活用して、役員等への女性登用を促進する。【農林水産省】
- ④ 女性農業委員のネットワーク組織の活発な活動などに関する好事例を展開するとともに、その取組や経験を継承していくための世代間交流を促進する。【農林水産省】
- ⑤ 地域レベルの女性グループの形成やその取組を支援するとともに、全国の女性グループ間ネットワークを構築する。【農林水産省】
- ⑥ 人・農地プランの実質化（農業者の年齢階層別の就農や後継者の確保の状況を「見える化」した地図を用いて、地域を支える農業者が話し合い、当該地域の将来の農地利用を担う経営体の在り方を決めていく取組）における女性農業者の参画を推進する。【農林水産省】
- ⑦ 女性の林業経営への参画等により、地域全体における林業を活性化するため、施業意欲を高める研修や情報提供等を実施するとともに、女性林業グループの取組を支援し、優良な取組の全国各地への普及を図る。【農林水産省】
- ⑧ 水産業における女性の参画を推進するとともに、水産業経営の改善を図るため、起業的取組を行う女性グループの取組、女性の経営能力の向上や女性が中心となって取り組む加工品の開発、販売等の実践的な取組を支援し、優良な取組の全国各地への普及を図る。【農林水産省】

イ 女性が能力を発揮できる環境整備

- ① 認定農業者の経営改善計画申請の際の共同申請や補助事業等の活用を推進する。【農林水産省】
- ② 「農業女子プロジェクト」や「海の宝！水産女子の元気プロジェクト」における企業や教育機関との連携強化、地域活動の推進により女性農林水産業者が活動しやすい環境を作る。【農林水産省】
- ③ 家族経営協定の締結による就業条件の整備を推進する。また、家族経営協定を締結した女性農業者に対する融資の活用を促進する。【農林水産省】
- ④ 女性の活躍推進に取り組む優良経営体（WAP：Women's Active Participation in Agriculture）の普及を推進する。【農林水産省】
- ⑤ 女性グループが行う漁業生産活動に対する融資の活用を推進することにより、女性が行う水産業に関連する経営や起業等を支援する。【農林水産省】
- ⑥ 女性の就農希望者等に対し、就農相談会、農業法人による会社説明会、就農促進PR活動、農業者による農業高校への出前授業等を通じて、農業への理解を促進し、円滑な就農を支援する。【農林水産省】
- ⑦ 女性農業者の農業者年金への加入を促進する。【農林水産省】
- ⑧ 労働時間の管理、休日・休憩の確保、男女別トイレの整備、キャリアパスの提示やコミュニケーションの充実など、女性が働きやすい環境づくりを推進する。【農林水産省】
- ⑨ 女性農業者の子育てと仕事の両立を地域で一体的にサポートするネットワークの構築を支援する。【農林水産省】
- ⑩ 女性の発想から農山漁村の魅力の掘り起こし・磨き上げ・発信を促進し、また、農山漁村のポテンシャルを引き出して地域の活性化や所得向上に取り組む優良事例を選定し、全国へ発信する。

【成果目標】 (2025年度)

農業委員に占める女性の割合	20%(早期)、更に30%を目指す
農業協同組合の役員に占める女性の割合	10%(早期)、更に15%を目指す
土地改良区(土地改良区連合含む)の理事に占める女性の割合	10%
認定農業者数に占める女性の割合	5.5%
家族経営協定の締結数	70,000件